

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	金融論Ⅱ		
科目基礎情報								
科目番号	0138			科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	4			
開設期	後期			週時間数	2			
教科書/教材	適宜指示。							
担当教員	塩見 浩介							
到達目標								
1. 金融取引の特徴について理解出来る。 2. 通貨の需要と供給について理解出来る。 3. デリバリティ・証券化・金融政策について理解出来る。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	金融取引の特徴について詳しく説明出来る。			金融取引の特徴について説明出来る。		金融取引の特徴について説明出来ない。		
評価項目2	通貨の需要と供給について詳しく説明出来る。			通貨の需要と供給について説明出来る。		通貨の需要と供給について説明出来ない。		
評価項目3	デリバリティ・証券化・金融政策について詳しく説明出来る。			デリバリティ・証券化・金融政策について説明出来る。		デリバリティ・証券化・金融政策について説明出来ない。		
学科の到達目標項目との関係								
ディプロマポリシー 1								
教育方法等								
概要	本講義では、これまで学習してきた金融論Ⅰを基礎として、金融に関する基本的な知識を現実の経済問題に応用する応用力を修得する事を目的として講義を行う。							
授業の進め方・方法	最初に、金融取引の特徴について学習し、さらに、決済システム、通貨の供給と需要、金融市場についての理解を深める。最後に、デリバリティ、証券化、金融政策、バブル崩壊後の金融不安問題などへの理解を通して、経済の実物的側面と金融との相互依存関係が重要である点を理解する。							
注意点	特になし。							
授業計画								
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	M&A戦略と企業価値①			株式会社の設立方法と株式の取り扱いについて学習する。		
		2週	M&A戦略と企業価値②			株式売買等における基本的なルールと企業買収について学習する。		
		3週	M&A戦略と企業価値③			シミュレーション手法における株式売買の取り扱いルールについて学習する。		
		4週	株式売買シミュレーション①			株式売買シミュレーションを行う。		
		5週	株式売買シミュレーション②			株式売買シミュレーションを行う。		
		6週	株式売買シミュレーション総括			株式売買シミュレーションの結果を報告し、考察を行う。		
		7週	復習			後期におけるこれまでの授業内容について復習する。		
	8週	中間試験			後期におけるこれまでの授業内容を基にして中間試験を行う。			
	4thQ	9週	銀行の基本的機能と役割			銀行の基本的な機能と役割について学習する。		
		10週	政府と中央銀行			シミュレーション手法におけるこれまでの銀行の役割の拡張と政府介入による環境変化について学習する。		
		11週	資産運用シミュレーション①			資産運用シミュレーションを行う。		
		12週	資産運用シミュレーション②			資産運用シミュレーションを行う。		
		13週	資産運用シミュレーション総括			資産運用シミュレーションの結果を報告し、考察を行う。		
		14週	復習			これまでの授業内容全てについて学習する。		
		15週	期末試験			金融市場・中央銀行・金融システムの監督・規制・事後措置等について問う。		
		16週	答案返却と解説等			期末試験実施後、答案返却と成績確認、解答の開設を行う。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	